

令和7年第2回宝塚市議会（定例会）一般質問一覧表

令和7年7月2日（水）～ 7月4日（金）

（場所：宝塚市議事堂）

発言順位	発 言 者	質問方式	発言時間	予 定 日 時	
1	中山 ゆうすけ	一問一答式	60分	7/2 (水) 6人	9:30～10:30
2	森 賀 宣 代	一問一答式	60分		10:30～11:30
3	北 野 聡 子	一問一答式	60分		12:45～13:45
4	持 田 ち え	一問一答式	60分		13:45～14:45
5	三 宅 浩 二	一問一答式	60分		15:00～16:00
6	みとみ 智恵子	一問一答式	60分		16:00～17:00
7	浅 谷 亜 紀	一問一答式	45分	7/3 (木) 6人	9:30～10:15
8	お だ たか子	一問一答式	60分		10:15～11:15
9	中 野 正	一問一答式	60分		12:45～13:45
10	泉 友 紀	一問一答式	60分		13:45～14:45
11	大 島 千都世	一問一答式	60分		15:00～16:00
12	川 口 じゅん	一問一答式	45分		16:00～16:45
13	坂 本 篤 史	一問一答式	60分	7/4 (金) 4人	9:30～10:30
14	村 松 あんな	一問一答式	60分		10:30～11:30
15	大 島 淡紅子	一問一答式	45分		12:45～13:30
16	北 山 照 昭	一問一答式	75分		13:30～14:45

※各質問の予定日時につきましては、議事の進行状況により前後することがあります。

(注) 表中、議員名下の () は質問形式

順位	議員名	件名
1	中山ゆうすけ (一問一答式)	1 本市における教科書採択について (1) 教科書採択の透明化について (2) 教科書改訂が子どもたちの学習に及ぼす影響について 2 英語教育における小・中連携について (1) 本市の英語教育における小・中連携の取組はどのように進められているか 3 本市の広報戦略について (1) 本市の広報戦略の現況は
2	森賀 宣代 (一問一答式)	1 病児保育の利便性向上と当日利用の拡充について (1) 病児保育施設の現状と利用実態について ア 宝塚市における病児保育施設の配置数及び年間利用件数は イ 利用希望があっても定員超過等により利用できなかったケース及び件数を把握しているか (2) 当日予約・即日利用への対応について ア 医師の病児保育事業利用紹介書(診療情報提供書)の取得方法及び予約を簡素化する方向性は考えているか イ 病児保育事業利用紹介書(診療情報提供書)の電子化、事前登録制度の活用をはじめとする当日利用拡充のための方策は (3) ICTの活用による利便性向上の可能性について ア 今後、ICT活用による事前登録、利用申請、施設空き状況確認など、病児保育予約のデジタル化の予定はあるか (4) 病児保育施設の拡充と支援体制の強化について ア 現在、病児保育施設が左岸側に偏っているが、右岸側への病児保育施設の増設は考えているか イ 既存の病児保育枠を増やす予定はあるか 2 主権者教育と投票率向上に向けた取組について (1) 宝塚市における最近の選挙投票率について ア 市は最近の投票率の結果を受けて、どう分析しているのか イ どのような課題認識を持っているのか (2) 宝塚市としての有権者に対する啓発活動について ア 市政に興味を持たない有権者へどう対応すべきだと考えているか イ 選挙投票率を上げるために、日常的な計画はあるか (3) 義務教育期間からの現実的な主権者教育の必要性について ア 教育現場と連携して、実践的な主権者教育を推進するための展望はあるか イ 選挙の必要性を理解してもらうための授業はあるか

<p>3</p>	<p>北野 聡子 (一問一答式)</p>	<p>1 中学校の部活動の地域展開（地域移行・地域連携）について</p> <p>(1) 地域展開推進において、専門のコーディネーターを置くことや、社会教育部等が今後の推進を担っていくことを検討すべきではないか</p> <p>(2) 地域クラブの指導者の労務条件と、安心して関われるような体制づくりは</p> <p>(3) 地域クラブでの活動を希望する教職員の兼職兼業の労務条件と、安心して関われるような体制づくりは</p> <p>(4) 支援や配慮の必要な子どもたちや、学校に登校しづらい子どもたちの願いは十分に反映されるのか。参加をどう促していくのか</p> <p>(5) 社会問題となっている指導者からのハラスメントを防ぐ方策と、子どもが相談できる相談窓口の設置が必要ではないか</p> <p>(6) 地域展開が始まってからのモニタリング機能が必要不可欠であるので、どこがどう担当するのか検討すべきではないか</p> <p>(7) 2022年の文部科学省のガイドラインによると「まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進し、その検証に基づいて平日の活動の移行にも取り組む」とあった。現在の本市での方向性は</p> <p>(8) 2024年12月に文部科学省から、地域展開の引き継ぎの改革期間として2026年度から2031年度までの6か年度を設定したという中間とりまとめが公表された。本市は6か年度で再構築するのか</p> <p>2 放課後児童クラブについて</p> <p>(1) 「支援員」の未配置解消と待遇改善は進んでいるのか</p> <p>(2) 当該場所の子どもの命を守るための安全対策の強化は進んでいるのか</p> <p>(3) 子どもたちが安心して過ごせる適切な環境整備は進んでいるのか</p> <p>(4) 「本年度に本格的に全体を見直す予定」との方針は、放課後の子どもの多様な居場所づくりに関しての検討なのか</p> <p>3 子どもの権利擁護とウェルビーイングな学校環境づくりについて</p> <p>(1) 「配慮の必要な子どもが落ち着いて過ごせる」という実績がある心理サポーターの拡充はできないか</p> <p>(2) 教育と福祉をつなぐスクールソーシャルワーカー（SSW）の未配置校への全校配置が急務ではないか</p> <p>(3) ころとからだのアンケート、ASSESS、いじめアンケートなど、子ども支援を目的としたアンケートが頻繁に行われているが、その結果から、実際の子どもの支援につながっているのか</p> <p>(4) 学校や教職員に対するカスタマーハラスメント対策は進んでいるのか</p>
<p>4</p>	<p>持田 ちえ (一問一答式)</p>	<p>1 市民と市の関わり</p> <p>(1) 市長と市民が対話をする事について</p> <p>ア 目的</p> <p>イ 課題</p>

		<p>(2) 市の発信と受入れについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ア パブリック・コメント イ ホームページと広報たからづか ウ 市民の想いを受け止める組織 <p>2 産前産後の市の取組</p> <p>(1) 産前産後の市の支援体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 現状と目的 イ 産後ケア事業の集合契約 ウ 市の発行物や周知の方法 エ 妊産婦の自殺予防について <p>3 市が考える教育について</p> <p>(1) 教育について市の考えは</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 市と教育委員会の役割 イ 子どもの育ちのために必要な教育とは <p>(2) 学校現場について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 国歌・国旗について イ 転地学習・自然学校について ウ 部活動の地域移行について エ 給食について オ 教員の働き方改革について
5	<p>三宅 浩二 (一問一答式)</p>	<p>1 国が進める小学校給食費無償化について</p> <p>(1) 令和8年度開始予定の小学校給食費無償化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 想定されるメリット イ 想定されるデメリット <p>2 防災について</p> <p>(1) 宝塚市避難所運営マニュアル改定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 改定の内容・目的 イ 改定内容を実現するための取組・支援 ウ 地域の防災活動への影響 <p>(2) 避難所の環境改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア TKB（トイレ、キッチン、ベッド）の迅速配備 イ 通信の確保 <p>(3) 避難時の安全確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 市内各所にあるアンダーパスの冠水対策 イ ブロック塀の対策状況
6	<p>みとみ智恵子 (一問一答式)</p>	<p>1 誰もが生き生きと暮らせるまち、宝塚</p> <p>(1) 食料自給率の向上と地域の役割について</p>

		<p>ア 食料自給率の現状と危機意識の共有</p> <p>イ 宝塚市における農業の現状と課題</p> <p>ウ 地産地消の推進と学校給食への活用</p> <p>エ 若手・新規就農者の支援策</p> <p>オ 環境と共生する農業の在り方</p> <p>カ 市民・消費者の意識改革と参画</p> <p>(2) 戦後80年、非核平和都市としての宝塚の取組について</p> <p>ア 非核平和都市宣言の理念の継承と発信</p> <p>イ 平和教育の実施状況と課題</p> <p>ウ 非核宣言都市同士の連携と自治体外交</p> <p>エ 国際情勢の変化と市の姿勢</p> <p>(3) 水道インフラの老朽化問題について</p> <p>ア 水道施設・管路の老朽化の現状</p> <p>イ 水道料金と市民負担の在り方</p> <p>ウ 災害時の対応力と危機管理</p> <p>(4) フィールドパビリオンについて</p> <p>ア SDGs、教育との連携</p> <p>イ 観光・経済効果への波及</p> <p>ウ 今後の展望とレガシーの継承</p>
7	浅谷 亜紀 (一問一答式)	<p>1 誰もが安心して暮らし、幸せを感じられるまちをつくるために</p> <p>(1) 健康たからづか21（第3次）について</p> <p>ア 国の「健康日本21（第三次）」では「女性の健康」が初めて項目として明記されたが「健康たからづか21（第3次）」に項目として反映する必要はなかったのか</p> <p>イ 放課後等子どもたちが安心して過ごせる場として児童館等が示されているが、児童館が校区内にない児童の居場所について、市が目指す状態と校区ごとの調査は進んでいるか</p> <p>(2) スマート・ライフ・プロジェクトに自治体として参画する意義をどう考えるか</p> <p>(3) 市民のウェルビーイングを高めることに対する市の見解と取組は</p> <p>2 第6次総合計画における地域ごとのまちづくり計画について</p> <p>(1) 第6次総合計画における地域ごとのまちづくり計画の位置づけ及び重要性をどう考えるか</p> <p>(2) 後期計画の策定において、各地域の計画に掲げられた大きな予算を必要とする項目について、市として地域の信頼に応えるべく期間内に完結するための予算措置の検討は進んでいるか</p>
8	おだ たか子 (一問一答式)	<p>1 防災 土砂災害警戒区域（Y区域）と土砂災害特別警戒区域（R区域）について</p> <p>(1) Y区域の市所有斜面地の点検調査53の予定箇所での優先順位は設定され</p>

		<p>ているか</p> <p>ア 直下に住宅があるところの箇所数</p> <p>イ 河川と商業地域に近接しているところの箇所数</p> <p>ウ 廃校後転用して跡地活用か売却したいところの調査と対策の予定</p> <p>(2) 県指定土砂災害特別警戒区域（R区域）付近の台風・豪雨災害時の避難ルート確保について</p> <p>2 障がい福祉 基幹相談支援センターについて</p> <p>(1) 事業内容は</p> <p>(2) 具体的な業務内容</p> <p>ア 相談の延べ件数</p> <p>イ 相談の方法は</p> <p>3 防犯対策 特殊詐欺事件発生について</p> <p>(1) 本年6月21日に市内で発生した特殊詐欺事件の市の対応について</p> <p>ア 市の対応策は</p> <p>イ 危機管理の観点で適切な対応とは</p>
9	中野 正 (一問一答式)	<p>1 宝塚市の行財政改革の課題について</p> <p>(1) 宝塚市公共施設等総合管理計画</p> <p>ア 公共施設マネジメントの課題は</p> <p>イ 課題を踏まえつつ取り組む、公共施設マネジメントの7つの方針について</p> <p>ウ 7つの方針に基づく取組状況について</p> <p>エ 監査の意見に「庁内の合意形成の迅速化に向け、取組の強化」と「更なる床面積の削減が必要となり、部局横断的な施設の統廃合等に係る具体的な計画や実践に向けた庁内外での合意形成がより一層重要となります」とあるがそれに対する取組は</p> <p>(2) 受益者負担適正化ガイドライン</p> <p>ア 原価の上昇に対する対応は</p> <p>イ 手数料は原則原価とするとあるが、近隣市との均衡を考えてとある。では近隣市の状況と、近隣市との協議など、どうしているのか</p> <p>2 新病院のBCP対策と経費削減について</p> <p>(1) 新たに建設する段階で考えている、災害時のBCP対策についての対応策は</p> <p>(2) 新たに建設する段階で考えている、経費削減策は</p> <p>3 宝塚市マンション管理計画認定制度について</p> <p>(1) 目的及び目標は</p> <p>(2) 申請数は</p> <p>(3) 認定数は</p>

		(4) 固定資産税の減額措置の実績は
10	泉 友紀 (一問一答式)	<p>1 防災・防犯体制の見直しと情報伝達手段の最適化について</p> <p>(1) 防災における取組について</p> <p>ア エフエム宝塚の創立経緯や設立目的、市民による聴取・活用状況、現状の課題は</p> <p>イ 市LINE公式アカウントの登録者数や今後の目標数について</p> <p>(2) 防犯カメラの設置と更新について</p> <p>ア 市内の防犯カメラの設置状況</p> <p>イ 今後の更新計画とオンライン化の可能性は</p> <p>2 GIGAスクール構想対応端末の破損リスクと教育環境の改善について</p> <p>(1) タブレットの破損対応方針とコストの妥当性について</p> <p>ア 修理、予備機対応への方針転換とコストの妥当性について</p> <p>イ 破損の実態と予防可能性について</p> <p>(2) 破損リスクを軽減するための学習環境整備について</p> <p>ア タブレットの落下防止対策の状況は</p>
11	大島 千都世 (一問一答式)	<p>1 部活動の地域移行について</p> <p>(1) 中学校体育連盟の現在の役割と今後の方向性について</p> <p>(2) 本市における地域移行の進捗状況は</p> <p>(3) 令和8年度に向けて市の計画と見通しは</p> <p>(4) 地域移行を支える地域組織づくりの考え方は</p> <p>(5) 移行に伴う予算支出と今後の財源確保の方針は</p> <p>2 パークマネジメント計画と公園維持管理の現状について</p> <p>(1) パークマネジメント計画の策定に先立つ現状把握と課題認識について</p> <p>(2) 草木の繁茂・高木管理の現状と課題認識について</p> <p>(3) アドプト制度の活用状況と自治体としての市民周知の在り方について</p> <p>(4) 市民と協働した公園美化・維持管理の可能性と方針について</p> <p>3 スポーツセンター駐車場の整備と運用の見直しについて</p> <p>(1) スポーツセンター駐車場の用地規制（都市公園法・都市緑地法）との関係の再確認について</p> <p>(2) 駐車場の拡張（緑地帯縮小を含む）を検討しなかった理由と今後の方針について</p> <p>(3) 大会・夏期プール利用時の混雑対策としての運用見直しの必要性について</p> <p>(4) 駐車場ゲートの老朽化と更新計画について</p> <p>(5) 指定管理者からの改善要望の有無とそれを市はどう受け止めたか</p>
12	川口 じゅん	1 産前産後の母親の心身を支える行政の役割について

	(一問一答式)	<p>(1) 産後の母親の心身の状況の把握について</p> <p>ア 心身の状況をどのように把握されているのか</p> <p>イ 心身のしんどい母親をどのように支援・サポートしているのか</p> <p>(2) 産後ケア事業について</p> <p>ア 利用実績と利用率の推移は</p> <p>イ 市内の各産後ケア施設の受入可能件数は</p>
1 3	坂本 篤史 (一問一答式)	<p>1 超高齢社会への対応について</p> <p>(1) 本市における超高齢社会への対策は</p> <p>ア 認知症サポーター養成講座の受講者数の状況と課題は</p> <p>イ 認知症サポーターを増やす取組は</p> <p>(2) 意思疎通に配慮を要する市民への窓口対応について</p> <p>ア 市役所窓口における要配慮者への対応は</p> <p>(3) 介護人材について</p> <p>ア 介護人材の不足についての対応は</p> <p>2 まちの安全について</p> <p>(1) 2026年4月から自転車の交通ルールが改正される予定だが本市における取組は</p> <p>ア 現在の交通安全教室の対象は</p> <p>イ 交通安全教室での講習内容は変更するのか</p> <p>(2) 放置自転車等の移送・保管料について</p> <p>ア 現在の放置自転車等の移送・保管料は適正なのか</p> <p>3 猛暑の夏に備える対策は</p> <p>(1) 本市の熱中症対策について</p> <p>ア 今年も猛暑の予想だが、市が取り組む熱中症対策は</p>
1 4	村松 あんな (一問一答式)	<p>1 森市政のスタンスを問う</p> <p>(1) 市民との対話の目的</p> <p>ア 市民との対話の場で発言された意見はその後、どのように取り扱われるのか</p> <p>イ 進行の都合上、発言できなかった人の意見をどのように聴取するのか</p> <p>ウ 市民と市長との対話以外の手法で市民の意見を吸い上げることは検討しているのか</p> <p>(2) 聖域なき行財政改革</p> <p>ア 取組が進んでこなかったばかりに聖域化されている分野の予算について、その財源を負担している市民全体が当事者であるという認識を持っているか</p> <p>イ 他市に比べて手厚いと言われることが多い福祉分野の聖域が守られることによって「宝塚市の未来の市民にツケ」を残している状況について、メスを入れていく覚悟はあるか</p>

		<p>(3) 副市長の役割分担</p> <p>(4) 齋藤県政への評価と関わり</p> <p>2 放課後児童クラブの待機児童対策</p> <p>(1) 待機児童解消の目標年度は</p> <p>ア 待機児童問題の解消をいつまでに目指すのか</p> <p>イ 今回のたからっ子「育み」プランにおいて「80人以上は民間で」というフレーズが削除されている。今後は状況によってはこの方針に固執することはないというメッセージと捉えてよいのか</p> <p>(2) 待機児童ゼロを実現している自治体の取組</p> <p>ア 本市で実現できない原因をどのように捉えているか</p> <p>イ 森市長がSNSで発信した「本格的に全体を見直す予定」について、具体的にどのような案があるのか</p>
15	大島 淡紅子 (一問一答式)	<p>1 ギャンブル依存症について</p> <p>(1) 職員への研修は今年度はどうするのか</p> <p>(2) 相談窓口の検討はどうなったか</p> <p>2 子どもたちにとって楽しい学校園であるために</p> <p>(1) 中学校文化部の部活動地域移行について</p> <p>ア 地域移行へのスキーム</p> <p>イ 現状と今後の見通し</p> <p>ウ 吹奏楽部の見込み</p> <p>(2) 逆境的小児期体験（ACE）のある児童生徒への学校園での対応について</p> <p>(3) トウレット症候群・吃音のある児童生徒への学校園での対応について</p>
16	北山 照昭 (一問一答式)	<p>1 向月町・鶴の荘地区の浸水対策について</p> <p>(1) 県で進められている大堀川の河川改修工事の進捗状況について</p> <p>(2) 内水対策としての向月町地区内の整備推進について</p> <p>2 市営火葬場における火葬待ちの実状と対応策について</p> <p>(1) 火葬場の火葬件数の推移と市外区分の火葬件数について</p> <p>(2) 死亡から火葬までの経過日数の実態について</p> <p>(3) 市営火葬場の休場日と阪神間各市の実状について</p> <p>(4) 火葬炉の更新計画と更新中（令和7年度～令和11年度）の火葬対策について</p> <p>3 マンション管理の適正化に向けて</p> <p>(1) 宝塚市マンション管理適正化推進計画について</p> <p>(2) アンケート調査結果などを踏まえての市としての指導・支援について</p> <p>(3) 先進市の取組と国の支援策について</p>

